



ごあいさつ

会 長 床並 道昭

関係機関の皆さま方におかれましては、平素より千葉県信用保証協会の業務に格別のご高配を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

当協会では、業務内容・経営方針等をご理解いただき、より一層身近に感じていただくことを目的として、ディスクロージャー誌「CCGレポート」を作成しております。是非、ご一読いただきますようお願いいたします。

さて、平成29年度のわが国の経済情勢は、政府による経済政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調にあります。また、平成32年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、関連需要の高まりや、インバウンド需要による景気の押し上げが期待されております。

千葉県におきましても、緩やかな景気回復基調が続いている中、平成30年6月に外環道が延伸され利便性が高まり、成田空港の機能強化等のインフラ整備が今後追い風になると期待されます。

しかしながら、個人消費が低迷していることの影響や事業承継、人手不足等の課題もあり、中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあると認識しています。

このような状況の中、当協会としましては、平成29年度においても、企業の経営状況を考慮したきめ細やかな資金繰り支援や、企業のライフステージに応じた経営支援に積極的に取り組んでまいりました。創業支援として、県内19の市町村と連携し創業スクールを開催し、経営支援として専門家派遣により経営改善計画の策定支援を実施する等、コンサルティング機能の発揮に努めてまいりました。また、地方創生の一環として、古民家の活用を支援する保証制度である『古民家活用支援保証制度「ふるさとちば」』を、金融機関と連携して中小企業者の事業の発展を支援する保証制度である『成長発展支援保証制度「パートナーちば」』を創設し、保証制度の充実も図っております。

平成30年4月に信用保証協会法等の改正が施行され、信用保証協会の業務に中小企業者に対する「経営支援」が追加されるとともに、業務の運営に当たっては金融機関との連携が重要である旨が規定されました。また、大規模な経済危機等に迅速に対応するためのセーフティネットとして危機関連保証が創設されるとともに、小規模事業者や創業者への支援が拡充されました。当協会としましては、創業支援、経営改善・事業再生支援、海外展開支援、事業承継支援等の取組みを一層強化し、中小企業・小規模事業者の皆さまの経営改善、生産性の向上や地域経済の発展に貢献してまいります。

当協会としましては、金融機関、自治体、商工団体、支援機関の皆さまとの連携を深め、中小企業・小規模事業者の皆さまの資金繰りの円滑化という社会的使命を果たすべく役職員一丸となって取り組む方針でございますので、引き続きご理解・ご協力をお願い申し上げます。

平成30年8月